

2020 年度 成人部門 事業報告

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により社会情勢に様々な変化があり、感染防止を徹底しながら事業の継続と発展に努めてきた。リモートでの活動や在宅支援といった新たな活動を模索する中、マスクの製造事業、農地での活動などの取り組みにおいて、一定の成果を上げることができた。

特に大きな変化として、コロナ禍における働き方改革からデジタルトランスフォーメーションが加速し、リモートワークが急速に普及している。対人援助職である福祉事業と ICT の融合がどこまで有用性を得られるかは、これから先の事業運営を考える上で重要であると認識を深めた。

次年度は、このコロナ禍においても対人援助者として、より質の高い支援をいかに実現できるかが大きな課題であるが、感染予防対策を徹底し、如何に理念に基づいた質の高いサービスが実現できるかを模索していきたい。

1 重点取り組み項目

(1) 法人の理念に基づく『自立の支援』の認識統一

- ・各事業所間の情報共有と連携を強化し、理念と基本方針の共通認識を図る

あおば会議（責任者会議）にて、事業計画に基づいた取組みを行うための協議を重ね、「自立の支援」「地域社会」といった視点に立った支援を行う。

また、事業所ごとにその特色に基づいて目標を定め、事業計画と行動計画を作成した。次年度は計画に沿って実行する。

- ・職員全体で事業所の役割を理解し、行動する

事業所分析シートを実施した結果、理念に基づいた事業展開については職員の認識が深まっていることは把握できたが、情報の共有化については十分に行われなかった。次年度は組織を支える職員の経営に対する意識化を図り、それぞれの職制に応じた職責に基づき、役割の認識強化と行動促進を図る。

(2) 利用者のニーズや変化に応じたサービス内容の見直し

- ・個別支援計画に基づく適切な利用者の配置促進

利用者の要望や状況に応じて、事業所間での実習を行った。その結果、一般就労を含めて6名の利用者が本人の希望に沿った事業所間異動をした。

他事業所との共同作業として、利用者が栽培した花を法人内の各拠点に配達することなどを通じて他事業所の取り組み状況が分かる機会を設けることができ、既にその実績が出始めている。また、2021年2月より就労継続支援 B 型事業あかねでマスクの製造作業場を新設、ユニバーサルデザインを活用し、誰でも安心安全に作業ができる環境が整った。更に生産量を増やし、流通販売に繋げていきたい。

事業所の特色と本人のニーズが合うように、引続き配置について検討し、他事業所の見学や体験の機会を増やすなど、相談員と連携して本人が希望

する事業所間異動を活性化する。また、利用者も職員も事業所間の情報共有が図れるように各事業所にモニターを設置し、ICTを活用した情報共有の強化を図る。

・家庭環境の変化に応じたサービスの提供（夕食、入浴の提供等）

利用者、保護者の高齢化に伴い、家庭環境の変化からこれまでのサービスだけでは暮らしを支えることが困難なケースが増えてきている。しかしながら、生活介護事業エンゼルハートを中心に保護者会やアンケートによるニーズ調査を行ったが、夕食や入浴に関する反響は少なく、現状で満足しているといった意見が多数であった。また、将来に向けての課題について考える機会が少ないことから、今後を見据えた意見は少数であった。

次年度も引続き今後の暮らしについて、後援会と連携して意見交換会の場を設けることとする。

多様なサービスを準備することは、今後の利用者、保護者への選択肢の幅が広がることから、他サービスの活用について利用者に情報発信していく。

・利用定員 100 名の変更に基づく状況把握と検討

- ① 就労移行支援事業あおいの移転準備（2021 年移転検討）
- ② 生活介護事業エンゼルハートによる夕食、入浴サービスの提供
- ③ 就労継続支援 B 型事業ありすの農業活動と移転準備
- ④ 就労継続支援 B 型事業あかねのレストラン事業改革と売上向上
（昼食提供等在り方の検討）

就労移行支援事業あおいの運営状況が厳しく、今年度で事業を廃止した。利用者の移行先については本人の意思を尊重し、相談員と連携して他事業所への移行を図った。就労移行支援事業あおいで実施していた就労準備訓練や就労活動については、就労継続支援 B 型事業あかねで引き続き実施していく。

就労継続支援 B 型事業あかねのレストラン事業においては、レストラン会議を通じて売上目標と利用者の増員を決定し、利用者の適性に応じて作業内容の整理を行ったが、レストランスペースについては空間を有効活用するための整理ができていない。次年度はコロナ禍におけるレストラン事業の在り方を抜本的に見直す。

(3) 農業を通じた新たなサービスの創出

・就労継続支援 B 型事業ありすの移転準備

移転準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染拡大により、建設工事の不確定要因の発生に対する懸念や、既存の設計では構想通りの運用が困難と判断し、工事を延期した。8月に保護者会を開催し、保護者への延期の説明を行った。

次年度は感染症予防対策を徹底し、農作業を目的どおり実施するとともに、施設整備のための準備を進め、スケジュール通りの完成を目指す。

・地域交流の具体的な活動内容を企画

農園を通じた活動が事業所間交流や保護者交流に大きく繋がっている。また、地域の農家や企業から仕事をいただくなど、農園を通じて、今までは

実現しなかったコミュニティーが広がり、重要な役割を担っている実感が出てきている。

就労継続支援 B 型事業ありすでは、後期の保護者会で芋ほり体験などのイベントを企画し、保護者の参加率も増加している。また、事業所の玄関先に花やメダカを置くなど、地域の皆様が立ち寄れる機会を設け、子供が自然と事業所に集まっている。制度の動向からも地域活動創出に加算が算定されるようになり、地域との繋がりを意識した公益的な取り組みが成果として認められ始めている。保護者、地域住民の意見を傾聴し、地域課題の解決につながる交流の在り方を次年度も模索し、就労継続支援 B 型事業ありすに移転した後も継続可能な活動を計画する。

- ・農業を通じた新たな働き方を創出

農福連携事業による農家からの仕事依頼や、大学教授、スタートアップ企業など様々な分野でのコミュニティーが広がっている。既存の働き方に捉われない自立の財源を捻出する方法を次年度も模索していく。

(4) 職員の働く環境づくり

- ・定時退社の継続と業務内容の平準化

前年度に引き続き、定時退社の促進を図った。概ね達成しているが、モニタリングの時期や作業繁忙期の時期は 30 分程度の残業が目立っている。次年度は会議の在り方を見直し、ICT を活用した働き方を促進し時間の効率化を図る。

- ・有休消化率の向上（年 10 日間）

前年度に続き、5 日間の取得目標は達成したが、10 日間の目標には及ばなかった。次年度は全員が目標達成できるように業務調整を行い、計画的に取得促進を図る。

(5) 利用者・保護者との情報共有、情報発信ツールの充実

- ・ホームページの有効活用（広域的に情報を発信）

以前からの課題であったホームページの更新について、内容の見直しを図り、活動情報は定期的にアップロードした。次年度からは更に充実した内容が発信できるように、企画委員会を立上げ、誰にどのような情報を届けるのかを協議し、前期までに一新する。

- ・保護者会（年 2 回）

保護者会については大人数での集会を実施することができず、感染リスクを避けるために各事業所で実施した。

- ・レモンの会（年 2 回）

今年度は感染拡大のリスクを避けるために未実施である。実施方法を再度検討したうえで、次年度の開催を検討する。

- ・ハーモニーの発行（毎月）

- ・個別面談（随時）

(6) その他

- ・各研修への参加
 - 新型コロナウイルスによる労災関連セミナー (8月 JIC セントラル(株)主催)
 - 新人職員研修 (8月 藤枝市基幹相談支援センター主催)
 - 経営戦略セミナー・工賃向上戦略 (9月 (株)LITALICO 主催)
 - 農福連携セミナー (9月 藤枝市役所自立支援課主催)
 - 新人職員研修 (11月 藤枝市基幹相談支援センター主催)
 - 強度行動障害について (12月 (有)ホットラインワールド主催)
 - 報酬改定・工賃向上研修 (12月 (公財)日本財団主催)
 - サビ菅研修 (3月 藤枝市基幹相談支援センター主催)
 - 人材育成研修 (年11回 4、5、7～3月 (株)あき主催)

2 会議への参加

- ・部門長会議 (隔週木曜日) 部門長・部門長補佐参加
- ・運営会議 (毎週火曜日) 部門長参加
- ・職員会議 (毎月最終水曜日) 責任者以上参加
- ・全体職員会議 (10、3月) 法人全職員
- ・あおば会議 (隔週水曜日) サービス管理責任者補佐以上参加
- ・部門内週礼 (毎週火曜日) 成人部門職員参加
- ・リスクマネジメント委員会 (9、3月) 担当委員参加
- ・安全衛生委員会 (年9回 4月～9月、1月～3月) 担当委員参加
- ・苦情解決委員会 (9、3月) 担当委員参加

2020年度 成人部門 作業売上目標 (単位:円)

事業所	売上目標	売上実績	達成率	
あおい	3,500,000	5,050,732	144%	
あかね	施設外	22,000,000	22,079,978	100%
	施設内	3,000,000	5,841,473	195%
	レストラン	15,000,000	10,390,304	69%
	(全体)	40,000,000	38,311,755	96%
ありす	1,700,000	4,756,699	280%	
エンゼルハート	700,000	807,618	115%	
合計	45,900,000	48,926,804	107%	

2020年度 成人部門 事業所別 月額平均工賃 (単位:円)

事業所	目標工賃	月額平均工賃	達成率
あおい	30,000	15,350	51%
あかね	33,000	31,088	94%
ありす	5,000	6,914	138%
エンゼルハート	2,500	2,118	85%

事業報告の付属明細書

2020 年度事業報告には事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

